



## 広島ガス株式会社

2015年11月18日

1. 会社概要
2. 2015年度上期決算実績
3. 経営ビジョンと中期経営計画
4. 株主還元方針
5. 成長戦略

# 1. 会社概要



- 資本金：51億8千1百万円
- お客さま件数：41万件
- 広島県内の6市4町に都市ガスを供給
- 広島県東部地区にて福山ガス等に卸供給を実施
- 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定(2015年3月9日)  
(証券コード：9535)
- H26年度健康経営銘柄に選定



## ◎ 広島ガスの供給エリアと体制

供給エリア(広島県内6市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま件数  
40万9千件

広島地区  
お客さま件数 34万3千件



本社



廿日市工場

呉地区  
お客さま件数 4万8千件



呉支店

日新製鋼



東広島製造所

東広島地区  
お客さま件数 500件

本社

海田基地  
技術研究所

MMJ

東広島製造所

熊野事業所

呉支店



備後工場

広島県



尾道支店

尾道・三原地区  
お客さま件数 1万8千件

備後工場

三原営業所

尾道支店



凡例	
供給エリア(広島地区)	ガスホルダー
供給エリア(呉地区)	ガス製造所
供給エリア(尾道・三原地区)	本社・支店
供給エリア(東広島地区)	検封中幹線
幹線(広島ガス)	幹線(瀬戸内パイプライン)

# 広島ガスグループの概要



広島ガスグループ 39社 : 当社、子会社/関連会社38社



## ガス事業

- ・都市ガスの製造・供給  
および販売
- ・保安点検業務
- ・検針業務 他



## LPガス事業

- ・LPガスの販売
- ・LPガス充填業務
- ・当社エリア外での簡易  
ガス事業 他



## その他

- ・管工事を中心とした建設  
工事
- ・高齢者サービス事業 他



# ガス販売量の推移



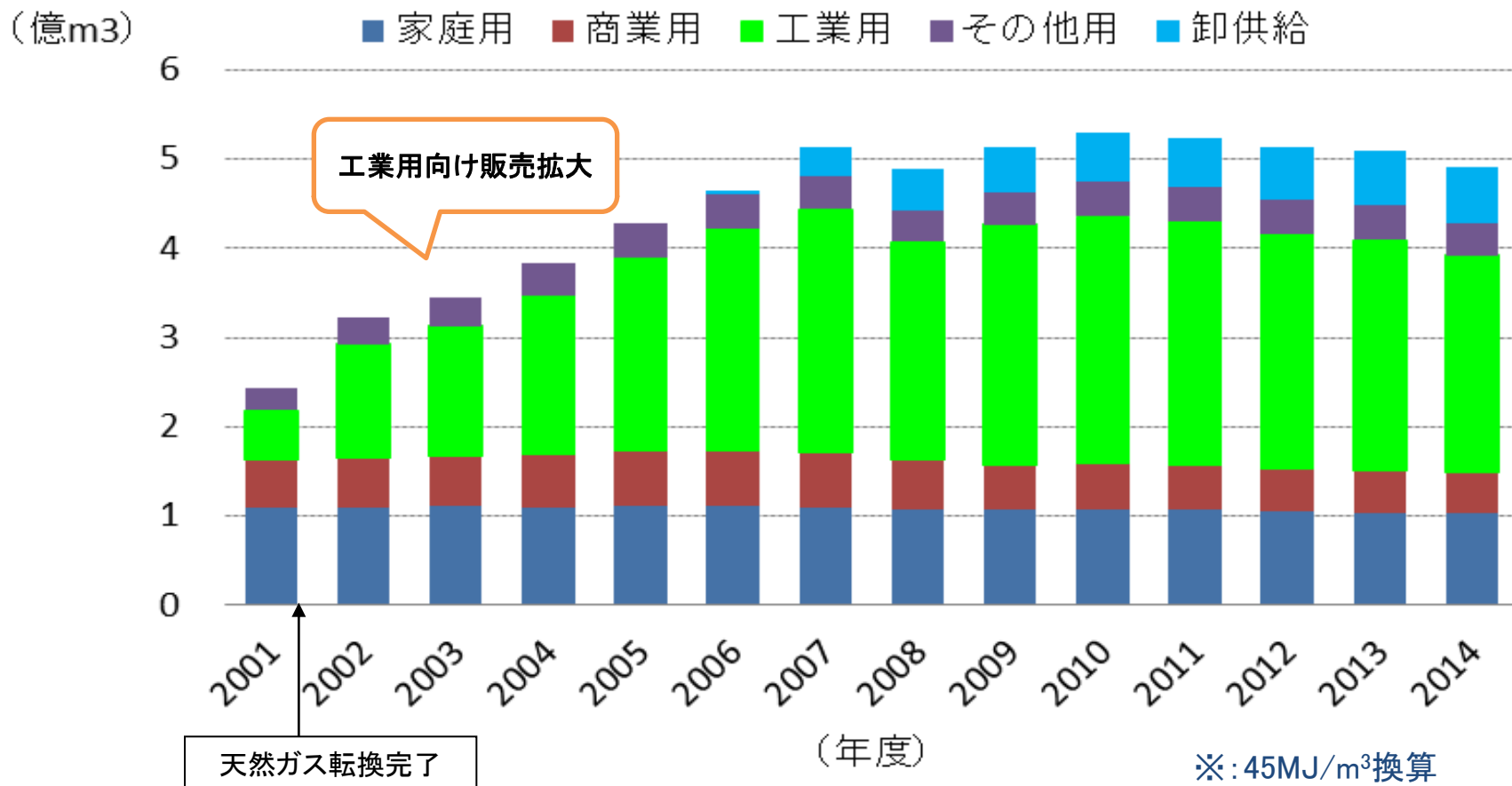
工業用  を中心とした需要の増加

総販売量

2014/2001 : **2.0倍**

工業用販売量

2014/2001 : **4.3倍**



## 2. 2015年度第2四半期 決算実績

---



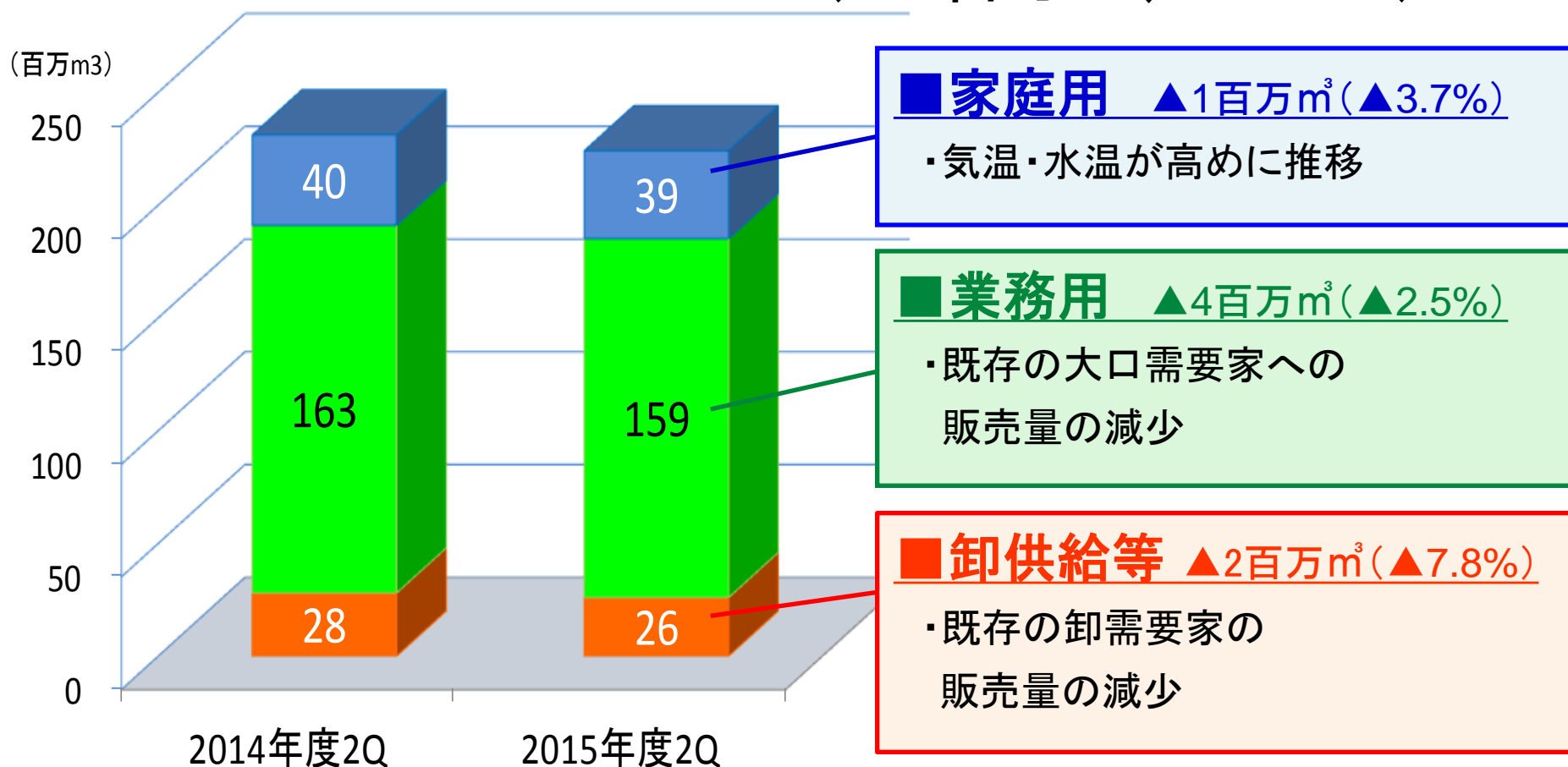
- (1) 都市ガス販売量実績
- (2) 2015年度第2四半期 決算実績
- (3) セグメント別 決算実績
- (4) 財政状況
- (5) 2015年度 業績見通し

# (1) 都市ガス販売量実績



2015年度第2四半期  
都市ガス販売量

**225百万m<sup>3</sup>**  
(▲7百万m<sup>3</sup>、▲3.3%)



## (2) 2015年度第2四半期 決算実績



(単位:百万円)

	2014年度2Q	2015年度2Q	増減	率(%)
売上高	41,112	37,158	▲3,953	▲9.6
売上総利益	12,667	14,163	1,496	11.8
営業利益	1,328	2,795	1,466	110.4
経常利益	1,586	3,067	1,480	93.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	772	1,932	1,159	150.0
原油価格 ICP/JCC (\$/bbl)	105.9	58.9	▲47.0	-
為替レート(円/\$)	103.0	121.8	18.8	-

(注1) 2015年度より、「四半期純利益」は「親会社株主に帰属する四半期純利益」に表記変更

(注2) 2015年度より、従来のICPからJCC(=Japan Crude Cocktail、全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着(CIF)価格)へ変更





## 経常利益 +1,480百万円 の増益

(1,586百万円 ⇒ 3,067百万円)

「+」「△」は利益に対する影響額を示す

- |                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| 1. ガス事業 数量差                        | △300百万円   |
| 2. スライド差                           | +1,100百万円 |
| ・スライドタイムラグ (前期)200百万円 (当期)1,300百万円 |           |
| 3. 新規連結影響                          | +450百万円   |
| ・HG LNG SHIPPING(LNG船の運航管理会社)      |           |
| 4. その他                             | +250百万円   |
| ・LPG事業の増益等                         |           |

# (3) セグメント別 決算実績



(単位:百万円)

		ガス事業	LPG事業	その他	調整額	連結
売上高	2015年度2Q	29,678	7,162	1,633	▲1,315	37,158
	2014年度2Q	32,477	8,534	1,119	▲1,018	41,112
	増減率(%)	▲2,798 ▲8.6%	▲1,372 ▲16.1%	513 45.9%	—	▲3,953 ▲9.6%
セグメント利益	2015年度2Q	2,098	562	▲95	230	2,795
	2014年度2Q	1,044	232	▲100	151	1,328
	増減率(%)	1,054 100.9%	329 141.5%	4 —	—	1,466 110.4%
セグメント売上高利益率	2015年度2Q	7.1%	7.8%	—	—	7.5%
	2014年度2Q	3.2%	2.7%	—	—	3.2%

## (4) 財政状況



(単位:百万円)

	2014年度末	2015年9月末	増減
総資産	99,759	97,529	▲2,230
負債	60,522	56,165	▲4,357
純資産	39,237	41,364	2,126
自己資本比率(%)	37.4	40.3	2.9pt

(単位:百万円)

	2014年2Q	2015年2Q	増減
営業CF	1,666	5,114	3,447
投資CF	▲3,609	▲3,733	▲124
財務CF	▲825	▲1,366	▲540
設備投資額	2,734	3,102	368
減価償却費	3,306	3,454	148

# (5) 2015年度 業績見通し



(単位:百万円)

	2014年度 (実績)	2015年度 (見込み)	差異
売上高	88,851	83,000	▲5,851
営業利益	4,111	4,400	288
経常利益	4,699	4,800	100
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,746	3,100	353
ROE(%)	7.9	8.0	0.1
原油価格 ICP/JCC (\$/bbl) ※	87.9	65.0	▲22.9
為替レート(円/\$)	109.9	120.0	10.1

(注1) 2015年度より、「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」に表記変更

(注2) 2015年度より、従来のICPからJCC(=Japan Crude Cocktail、全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着(CIF)価格)へ変更



## 経常利益 +100百万円 の増益

(4,699百万円 ⇒ 4,800百万円)

「+」「△」は利益に対する影響額を示す

1. ガス事業 数量差 +50百万円
2. スライド差 +1,100百万円
  - ・スライドタイムラグ (前期)200百万円 (当期)1,300百万円
3. 新規連結影響 +200百万円
  - ・HG LNG SHIPPING
4. 将来負担軽減のための諸費用 △800百万円
  - ・引当金(経年管対策・器具メンテ保証)
5. その他 △450百万円
  - ・廿日市工場棧橋関連 償却開始 △400百万円

# 3. 経営ビジョンと中期経営計画



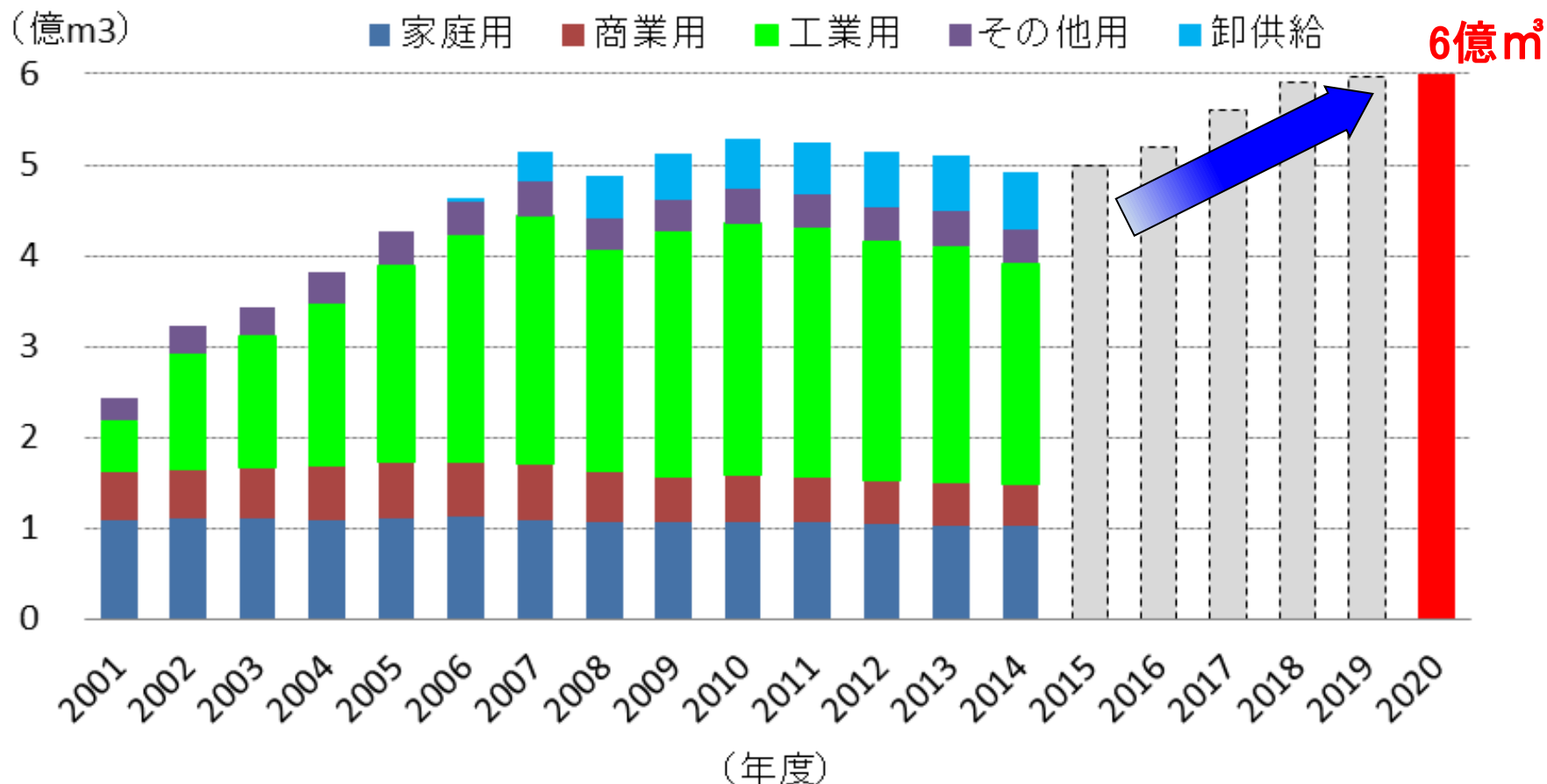
## 経営方針

- (1) **ガス体エネルギー(天然ガス・LPガス)の普及拡大**、エネルギーの高度利用を通じ、省エネ・省CO<sub>2</sub>およびエネルギーセキュリティの向上に貢献する。
- (2) お客さま目線でのサービスのあり方を追求するとともに、環境にやさしく、安心・安全で快適な暮らしを創造し、**お客さま価値の向上**を図る。
- (3) **エネルギー市場自由化に向け適切な対応**を図り、**新たな事業展開を検討・実施**する。
- (4) **公正かつ透明で風通しの良い組織へ変革**し、地域の好感度No.1の企業グループとなる。
- (5) 従業員の能力・やりがいを高め、**当社グループの成長を担う人材の育成**を推進する。
- (6) グループ全体の収益性と健全性を高め、**強靱な企業グループを構築**するとともに、持続的な発展をめざす。

# ビジョンの目標



- ①更なる天然ガスの普及拡大を図り、販売量**6億m<sup>3</sup>**を目指す。
- ②更なる経営の効率化と収益力向上の推進。



# ビジョン達成に向けた取り組み状況



## (1) 営業施策の強化

- ①ふれあい巡回 ②メンテW90 ③ガス機器長期保証サービス ④オーナーズクラブ
- ⑤ガストピア(ショールーム)の店舗拡大 ⑥W発電プラチナポイント制度

## (2) インフラ整備

- ①廿日市工場棧橋機能拡大 ②パイプライン幹線の拡張に関する検討・着工

## (3) 経営効率化の還元(H23年度 0.9%料金値下げ)

- ①45MJへの熱量変更等

## (4) グループ機能再構築

- ①ガスリビング吸収合併 ②ガステクノ・ガスサービスの合併
- ③新販売チャンネル体制の構築(LPガス販売店と都市ガスショップの合併)

## (5) 現場力の向上(安心・安全に向けての強化)

- ①保安強化技能大会 ②ガス管施工技能コンクール ③ガス器具「メンテ甲子園」 他

## (6) 組織力の更なる向上(活性化)

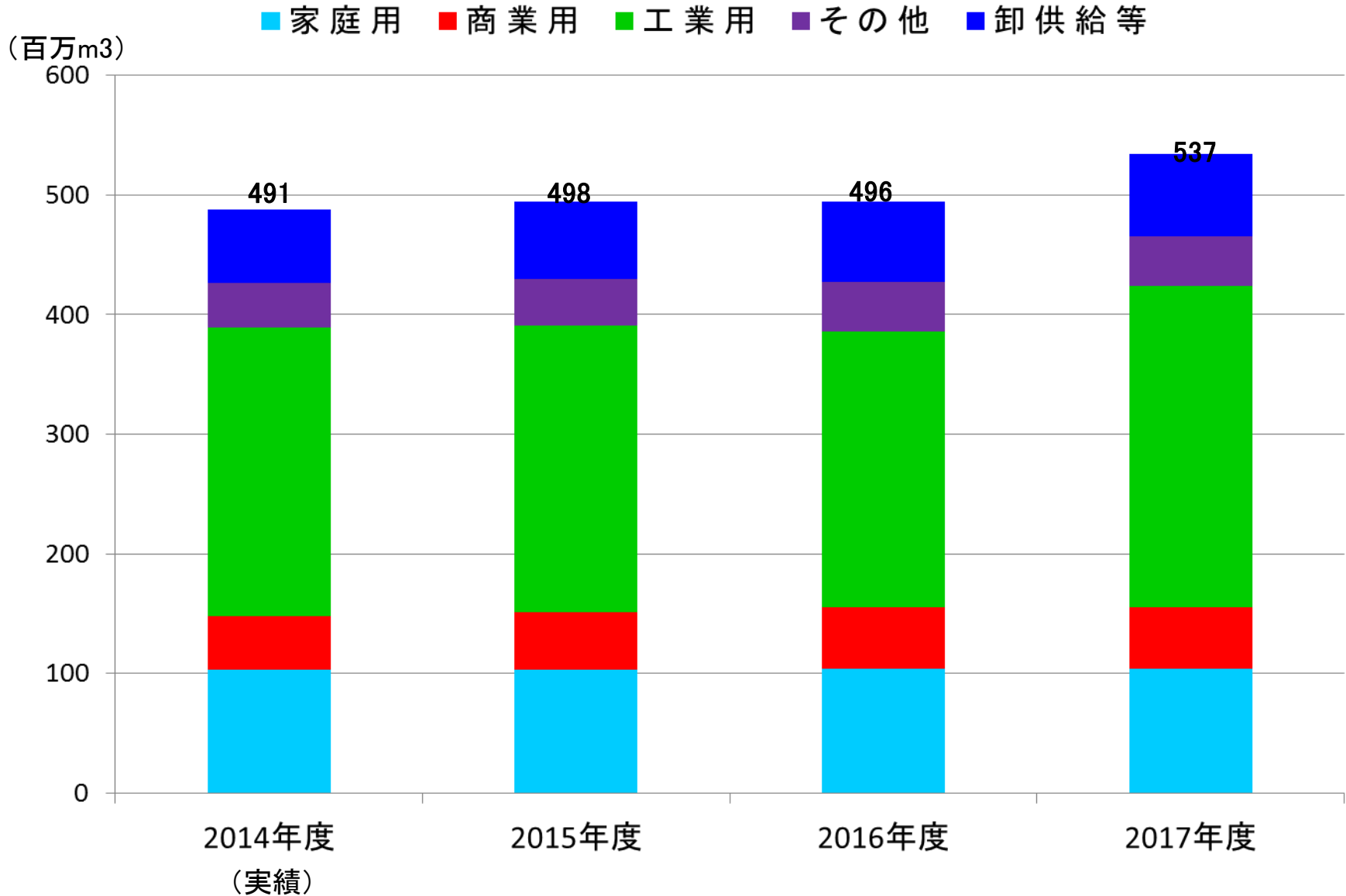
- ①グループロゴマークの更新 ②ワンステップ運動
- ③スポーツフェスタ(22年ぶりの運動会)

## (7) 市場自由化に向けた対応

- ①総合エネルギープロジェクト室等検討体制の整備 ②火力発電所建設可能性の検討



# 中期経営計画 ガス需給計画



# 中期経営計画 設備投資計画



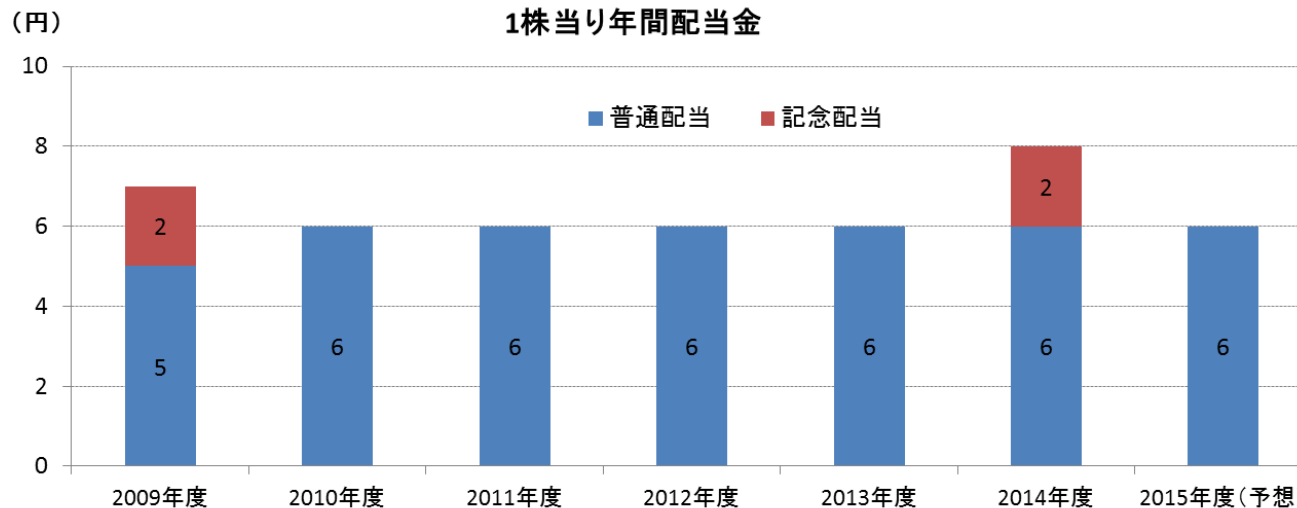
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	3年間合計 (2015～2017年度)
製造設備	32億円	36億円	3億円	1億円	41億円
供給設備	52億円	49億円	47億円	43億円	140億円
業務設備等	7億円	18億円	18億円	22億円	59億円
合計	91億円	104億円	69億円	67億円	241億円

(端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります)

# 4. 株主還元方針



徹底した経営効率化を進め、積極的な営業活動を展開し、**安定配当の継続**を基本方針とする



※2014年度は、東証一部指定を記念して、1株当り2円の記念配当を実施

## ◎株主優待制度

①目的: 株主様からのご支援に感謝するとともに、より多くの株主様に当社株式を**長期に保有**していただける魅力あるものとする。

②内容:

保有株式数	株主優待品
500株以上2,000株未満	図書カード(1,000円相当)
2,000株以上	商品カタログ (5,000円相当の広島県特産品等)

# 5. 成長戦略



## 持続的な発展に向けた取り組み

～ガス・電力市場の自由化は成長の好機～



総合  
エネルギー  
事業者へ

需要家件数の拡大  
・低普及地区の深耕  
・供給エリアの拡大  
(水平的拡大)

一件当たり販売量の拡大  
(垂直的拡大)

○ガス事業

販売量拡大を支える 製造・供給インフラ整備



○電力事業(環境変化に適応し、総合エネルギー事業を目指す)

- ・廿日市工場コージェネレーション(発電容量:11千kW、2004年9月～)
- ・大規模太陽光発電事業(発電容量:0.7千kW、2013年10月～)
- ・バイオマス混焼発電所(事業可能性検討中)



# 供給エリア拡大(面的拡大)



## 東広島市への供給エリア拡大(6市4町体制へ)

### 広島ガスの供給エリアと体制

供給エリア(広島県内6市4町)  
 広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま件数  
40万9千件



## 東広島市

- 広島県の中央(広島市の東)に位置する広島市のベッドタウン
- 人口は約19万人(世帯数:約8万世帯)で、人口、世帯数ともに増加傾向
- 広島大学の所在地



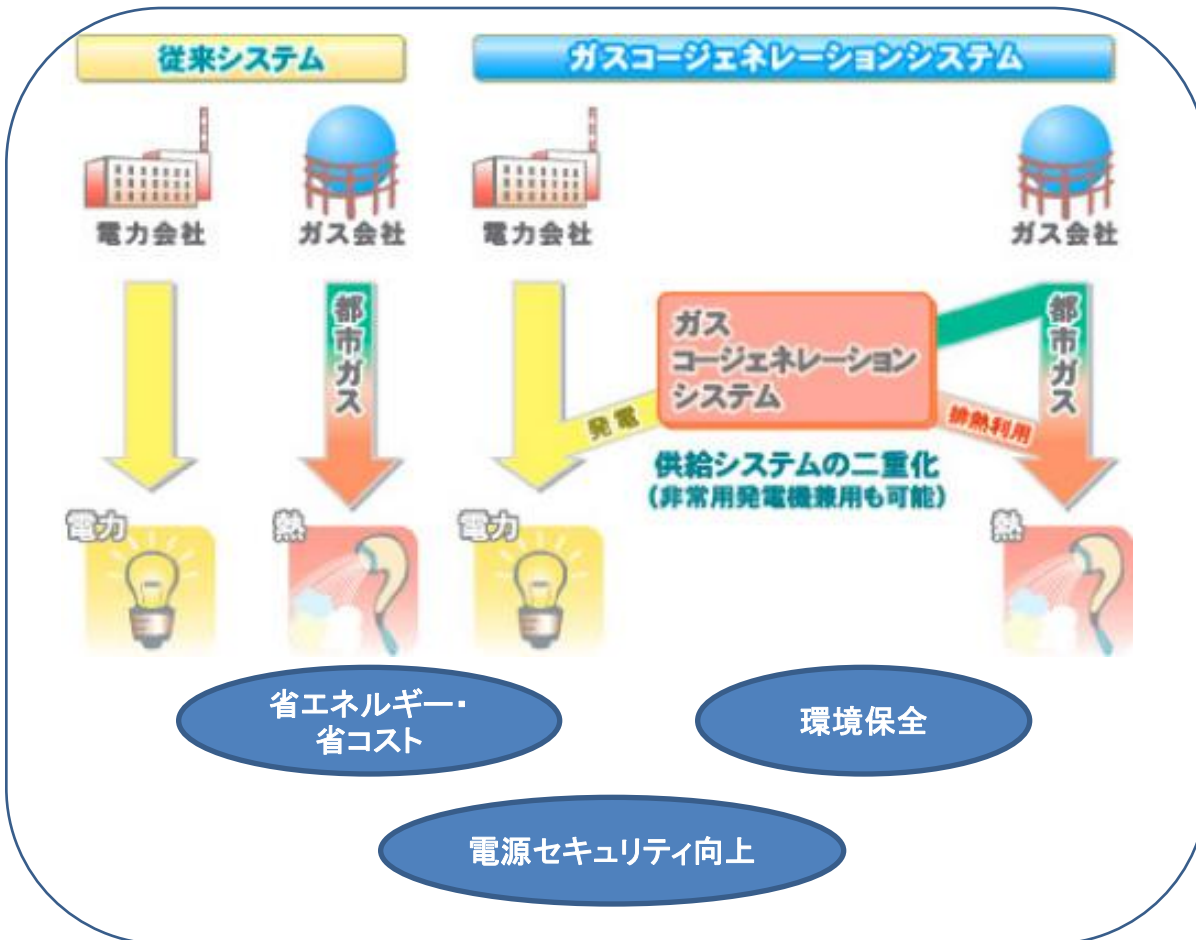
# 販売量拡大(コージェネ・ガス空調)



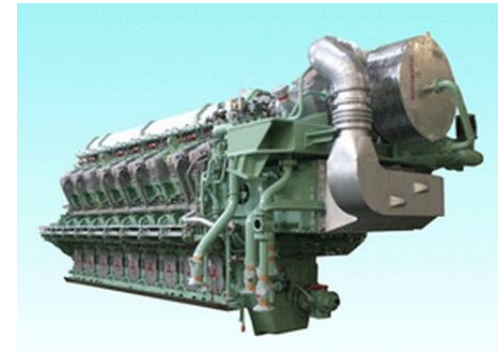
## 【工業用・業務用】

### 東日本大震災後の分散型電源、省エネ機器に対するニーズの高まり

⇒**ガスコージェネレーション**(エンジン/タービン、燃料電池)、**ガス空調**の販売拡大の好機



ガスエンジン



ガスヒートポンプエアコン





# 販売量拡大(エネファーム)

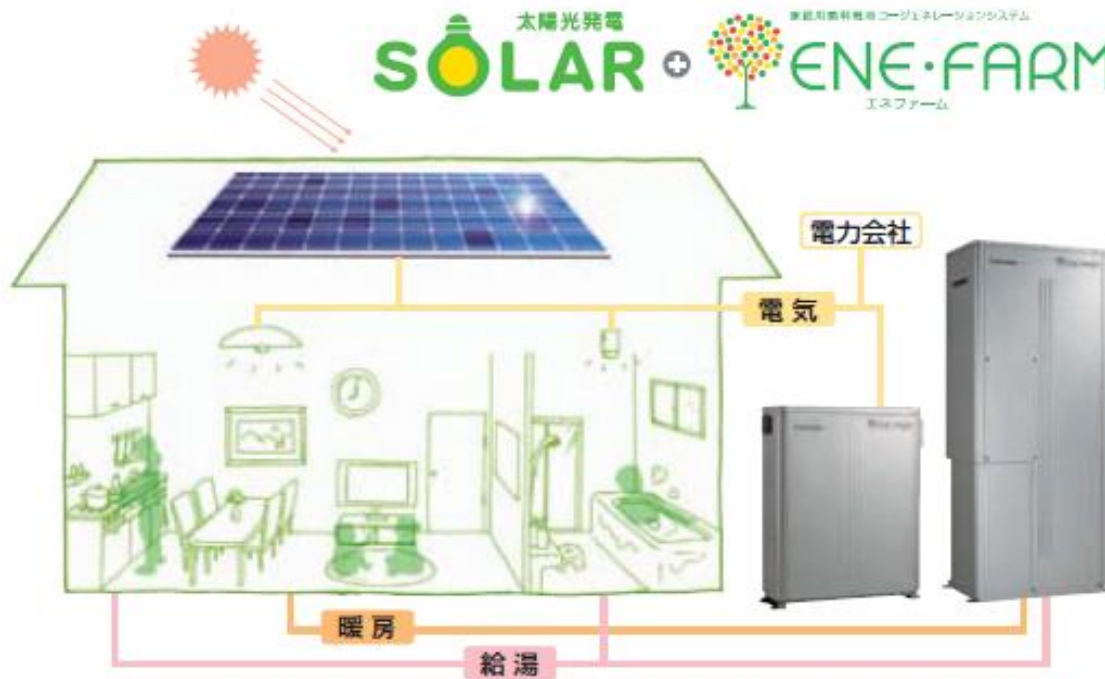
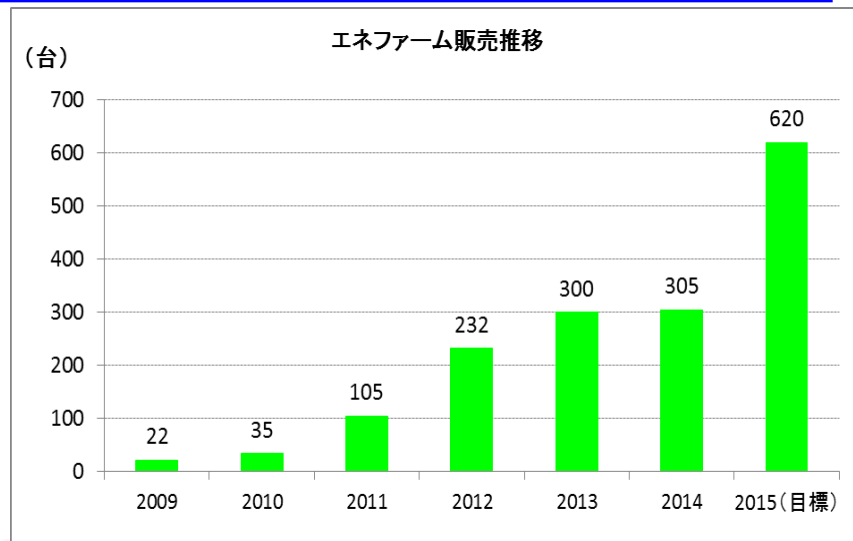


## 【家庭用】

### エネファーム(家庭用燃料電池)の販売拡大

⇒2015年度販売目標: **620台**

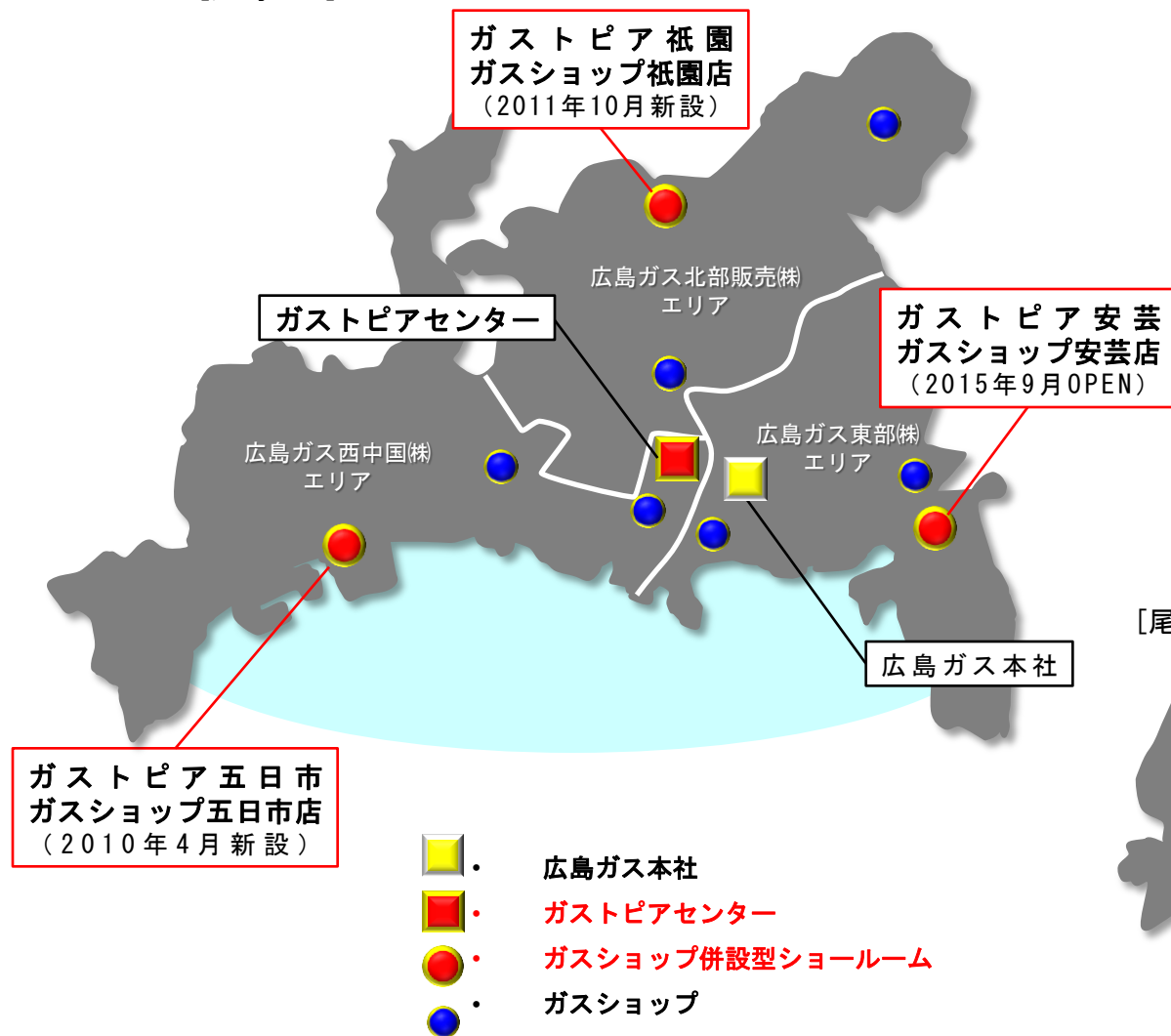
- 太陽光発電との**ダブル発電**
- マンション向けの早期受注獲得



# 営業拠点の強化



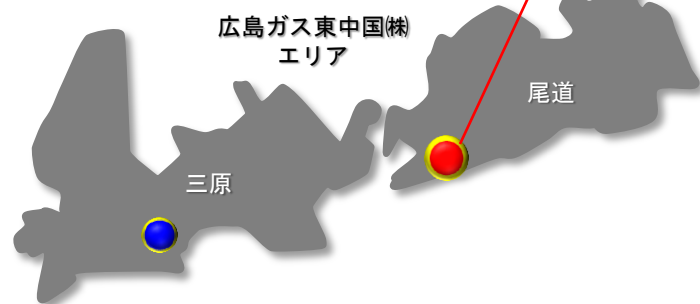
[広島地区]



[呉地区]

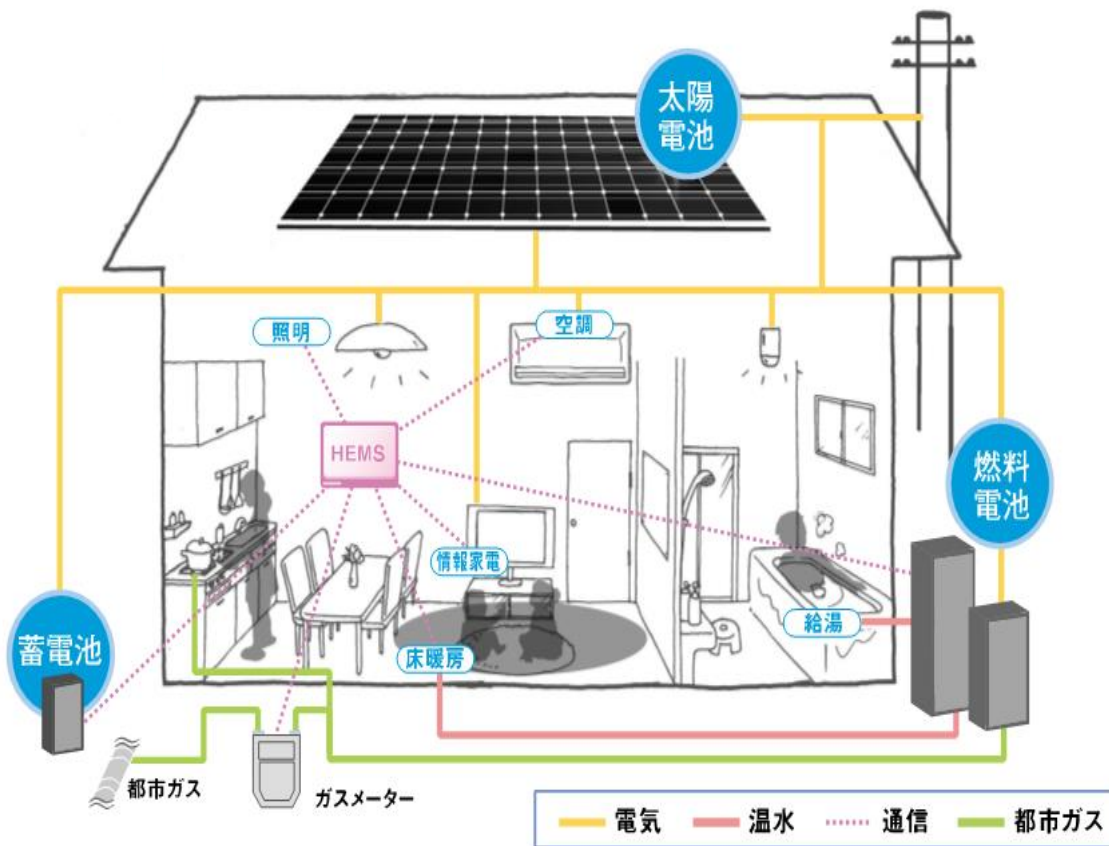


[尾道地区]





## スマートエネルギーハウスに関する技術開発の推進

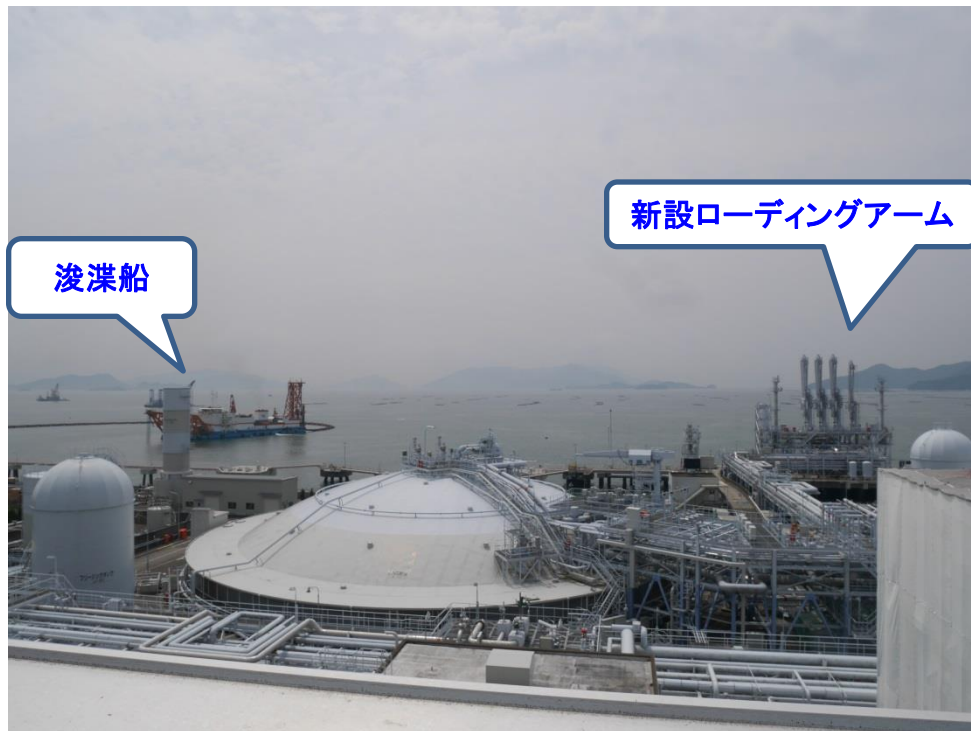


スマートエネルギーハウス  
実験棟

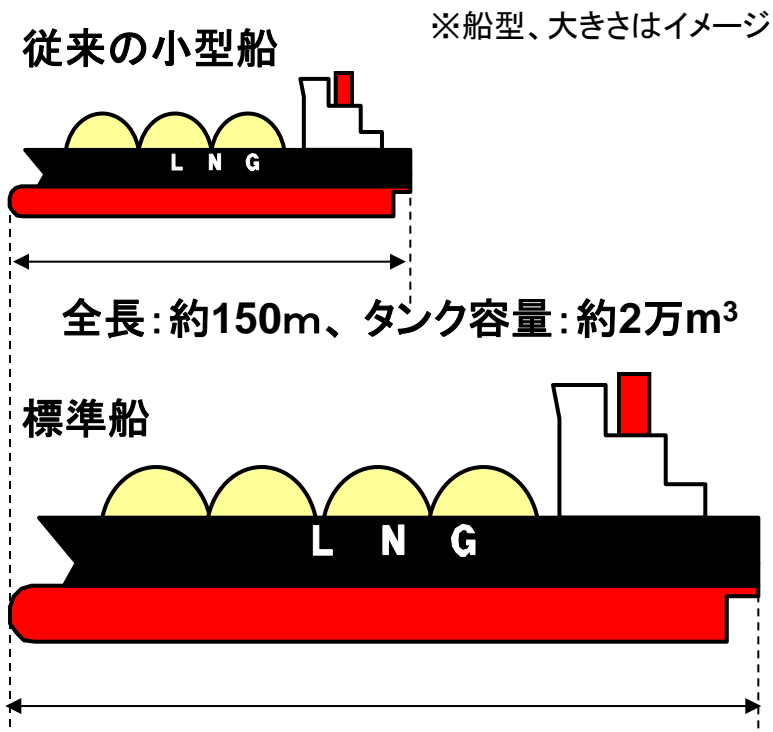
エネファームを核とした3電池組合せ技術を研究

燃料電池、太陽電池(太陽光発電)、蓄電池を組み合わせ、ホームエネルギー  
マネジメントシステム(HEMS)による最適なエネルギーシステム実現に向けた研究を実施

# インフラ整備(廿日市工場棧橋機能拡大)



当社廿日市工場



[想定される最大船型]

## 【ねらい】

小型LNG 船と併用して標準LNG船の受入体制を整えることで、将来の需要増大に対応

- ① LNG の安定的な受入体制の強化
- ② 廿日市工場の有効利用・稼働率向上
- ③ 輸送コスト低減⇒競争力あるガス価格実現

- ・ 全長:約300m
- ・ タンク容量:約 17万7千m<sup>3</sup>  
(従来諸元の凡そ2x2x2=8倍)

# インフラ整備(導管整備)



## 高圧幹線の延伸(広島湾岸幹線)



### 【目的】

甘日市工場棧橋機能拡大に際し、同工場の最大限活用に向けた基幹インフラを整備することにより、天然ガスの普及拡大、供給安定性の向上を図る





## 海田地区バイオマス混焼発電所の事業可能性の検討について

### ○平成27年3月4日公表

- ・中国電力と共同で旧海田工場跡地にバイオマス混焼発電所事業可能性を検討

### ○平成27年6月1日

- ・広島県環境影響評価条例に基づく環境影響評価方法書の提出

### ○平成27年9月28日

- ・広島県環境影響評価方法書に対する広島県知事意見受領

### ○発電所概要

発電出力	11.2万kW
使用燃料	バイオマス、石炭、天然ガス(助燃・バックアップ用)

### ○建設用地

- ・約15万㎡の敷地のうち、3.7万㎡程度の利用を検討

### ○ねらい

- ・地域のガス事業者と電気事業者の共同事業  
⇒ 既存インフラやノウハウの活用
- ・バイオマス・石炭・天然ガスの混焼  
⇒ 再生可能エネルギーの普及拡大に寄与



建設予定地

# ご清聴 ありがとうございました

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 広島ガス株式会社

# (ご参考) 主要決算数値



(百万円)

	FY2005	FY2006	FY2007	FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014
売上高	69,151	70,452	77,906	82,965	70,524	73,311	76,731	77,912	83,541	88,851
営業利益	1,227	1,421	1,286	2,287	3,067	3,782	1,347	2,841	2,058	4,111
経常利益	1,494	1,739	1,685	2,860	3,106	3,959	1,803	3,170	3,235	4,699
当期純利益(※1)	500	844	605	-1,907	2,083	2,606	91	1,835	1,969	2,746
減価償却費	7,190	7,051	7,780	7,553	7,724	7,463	7,221	6,449	7,284	6,925
営業キャッシュフロー(※2)	7,690	7,895	8,385	5,646	9,807	10,069	7,312	8,284	9,253	9,671
設備投資額	10,071	7,724	5,675	6,098	4,106	3,864	5,457	7,227	12,257	9,667
フリーキャッシュフロー(※3)	-2,381	171	2,710	-452	5,701	6,205	1,855	1,057	-3,004	4
総資産	118,539	112,771	111,443	99,623	93,754	88,841	91,135	89,806	96,785	99,759
自己資本(資本)	29,005	35,857	33,563	26,530	28,560	30,471	30,142	32,190	33,586	37,340
有利子負債	53,758	50,683	54,381	50,768	44,366	38,726	40,707	36,193	42,360	39,215
ROA(%) (※4)	0.4	0.7	0.5	-1.8	2.2	2.9	0.1	2.0	2.1	2.8
ROE(%) (※4)	1.7	2.6	1.7	-6.3	7.6	8.8	0.3	5.9	6.0	7.9
自己資本比率(%)	24.5	31.8	30.1	26.6	30.5	34.3	33.1	35.8	34.7	37.4
EPS(円)	7.3	14.5	10.2	-32.4	35.3	43.9	1.5	31.2	33.3	46.3
BPS(円)	505.2	604.3	571.0	449.8	482.1	512.9	512.4	545.2	567.1	571.0
D/E レシオ	1.9	1.4	1.6	1.9	1.6	1.3	1.4	1.1	1.3	1.1

※1 2015年度より「親会社株主に帰属する当期純利益」に表記変更

※2 「営業キャッシュフロー＝当期純利益＋減価償却費」により算定

※3 「フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー－設備投資額」により算定

※4 ROA・ROE算定の総資産・自己資本は期首・期末の平均値

# (ご参考)販売量データ



		FY2005	FY2006	FY2007	FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014
家庭用	販売量(百万m3)	112	112	109	106	106	108	107	105	103	103
	対前年比(%)	2.8	0	-2.7	-2.8	0	1.9	-0.9	-1.9	-1.9	0
商業用	販売量(百万m3)	62	61	62	57	51	51	49	48	47	45
	対前年比(%)	5.1	-1.6	1.6	-8.1	-10.5	0	-3.9	-2.0	-2.1	-4.3
工業用	販売量(百万m3)	215	248	271	243	269	275	273	262	258	242
	対前年比(%)	20.8	15.3	9.3	-10.3	10.7	2.2	-0.7	-4.0	-1.5	-6.2
その他用	販売量(百万m3)	37	37	38	35	34	39	37	37	38	37
	対前年比(%)	5.7	0	2.7	-7.9	-2.9	14.7	-5.1	0	2.7	-2.6
卸供給	販売量(百万m3)	-	3	31	46	51	54	55	60	61	62
	対前年比(%)	-	-	-	48.4	10.9	5.9	1.9	9.1	1.7	1.6
合計	販売量(百万m3)	427	463	513	488	512	529	524	513	509	491
	対前年比(%)	11.8	8.4	10.8	-4.9	4.9	3.3	-0.9	-2.1	-0.8	-3.5